

静岡大学キャンパス内の昆虫調査の発表にあたり

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2013-06-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 諏訪, 哲夫 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/7356

駿河の昆虫

SURUGA NO KONCHU

N°242

2013. 5. 31
静岡昆虫同好会

静岡大学キャンパス内の昆虫調査の発表にあたり

諏訪 哲夫

静岡大学では、従来の「教育・研究」以外に最近では「社会と大学との連携」がもとめられていることから、大学の貴重な資源を利用して地域に広く開放し、そのひとつ環境教育の場として活用するには、まず基礎的なデータの収集が不可欠であるため、2009年6月から2011年5月までキャンパス内の生物生息調査をNPO静岡県自然史博物館ネットワークに委託して行った。

静岡大学（静岡市駿河区大谷）は、静岡平野の南部、南は駿河湾に接して島のように孤立する有度山（別名日本平、標高307m）の西麓にあつて、標高80～120mの緩やかな丘陵地にある。有度山はミカン畑をはじめ農地として広く利用されているが、まだクリ、コナラ、エノキなどの落葉広葉樹林や、アラカン、タブ、ヤブツバキなどの常緑広葉樹林も残されており生物の多様性に富んだ丘陵である。大学のキャンパス内も有度山の自然を取り込んだ形で、植物の自生種が518種も記録されているなど豊かな植生が維持されている。

今回の昆虫類の調査の分野はハエ目（ユスリカ科）、ハチ目、コウチュウ目、チョウ目、カメムシ目、ハサミムシ目、トンボ目について3年間、15回にわたって調査した。この調査以外に静岡大学昆虫同好会『虫処』でも継続して調査を行っており、それらを加えると777種となった。平野部の特に特徴のある場所でもない、むしろ人為的にかなり改変されたこの地域に多くの種が生息していることに驚かされる。

静岡大学キャンパスミュージアムでは2012年これらのまとめの報告書「キャンパスの生き物-静岡キャンパス生物調査報告書-」を発行している。この報告書は部数も限られ昆虫の同好者の目に触れることも少ないと思われるので、一部加筆のうえ、静岡大学キャンパスミュージアムの了解を頂いて報告することとした。

今回、「I（コウチュウ目）」を発表するが、コウチュウ目以外の分類群についても引き続き発表する予定である。これらの発表にあたり多大のご指導ご助言をいただいた静岡大学の新妻廣美博士に心から感謝申し上げる。

〔すわ てつお：〒420-0815 静岡市葵区上沓谷町14-9〕